

医療費の改革 最優先

懇話会 宮崎政経
宮崎西 湯見 小黒さん

小黒さん(法政大教授)訴え

宮崎政経懇話会(宮崎日日新聞社、宮日文化情報センター)主催の第193回児湯・西都地区例会は20日、高鍋町のホテル泉屋であった。法政大経済学部教授の小黒一正さん(47)が「コロナ禍でのマクロ経済・財政を巡る課題―改革の視点と地方への影響は―」と題して講演した。

【講演要旨】
コロナ禍で飲食業などが影響を受けているが、日本経済全体をみると、最初の緊急事態宣言の影響が出た

だが革新的な医薬品に予算を回すことができない。
【出席者】(順不同、敬称略) 春成勇(宿建工業) 神田直人(木城町議会議長) 甲斐隆信(高鍋信用金庫専務理事) 島笠内遵(高鍋町副町長) 木戸秀雄(ホテル泉屋社長) 横山道徳(宮崎銀行西都支店長) 木浦豊英(木浦精米所代表社員) 河野浩一(川南町議会議長) 山西三重子(山西商事社長) 半渡英俊(木城町長) 谷口良孝(JA児湯組合長) 新田浩一郎(宮崎県農協果汁常務) 新倉好雄(川南町総務課長) 宮原浩幸(隆徳会鶴田病院秘書室長兼人事部長) 岩本正志(増田工務店取締役) 後藤正弘(高鍋町議会議長) 永友繁書(新富町議会議長) 林賢治(高鍋商工会議所中小企業相談所係長) 長生一(石井十次顕彰会副理事長) 松浦好子(県児湯農林振興局長) 日高則行(大林

が革新的な医薬品に予算を回すことができない。

【出席者】(順不同、敬称略)

昨年4〜6月が底でその後は急回復。3回目の宣言が出てその方向は変わらないだろう。
コロナ対策で国の歳出は過去にない規模となり、国債発行額も増えた。綱渡りの資金繰りが続くが、本年度予算の一般歳出からコロナ対策予備費を除けば、引き締まった財政運営をしていることが分かる。
今後取り組むべき改革の一つに医療費がある。薬剤費のスリム化などを行うことで、ワクチン開発や高額



能動的支援へ再分配強化

懇話会 宮崎政経
宮崎西 湯見 小黒さん

小黒さん(法政大教授)強調

宮崎政経懇話会(宮崎日日新聞社、宮日文化情報センター)主催の第380回霧島地区例会は19日、都城市のホテル中山荘であった。法政大経済学部教授の小黒一正さん(47)が「コロナ禍でのマクロ経済・財政を巡る課題―改革の視点と地方への影響は―」と題して講演した。
小黒さんは、新型コロナウイルス感染症拡大にまつわる経済指標を示し、「非製造業の生産低下が顕著で、

【出席者】(順不同、敬称略) 外山貴之(外山木材営業部主任) 木場智彦(木場組社長) 黒木兼一郎(黒木兼一郎税理士事務所) 桐野恭一(宮崎第一信用金庫都城営業部長) 新井克美(テミス総合支援センター理事) 江賢啓人(ヤマエ食品工業常務) 後藤雅彰(宮崎銀行都城営業部執行役員営業部長) 今塩屋博子(高原町総合政策課企画政策係長) 久保俊彦(都城グリーンホテル支配人) 黒木誠朗(宮崎太陽銀行都城支店長) 西村尚彦(三股町副町長) 枇杷利政(吉原建設常務) 木崎大介(BTV常務) 有村義昭(南日本酪農協同社長) 外村正司(都城ヤクルト販売総務課長) 千町泰希(ホテル中山荘支配人) 折田健太郎(都城商工観光部長) 永友秀和(都城宮日サービスセンター社長) 湯田光(宮崎日日新聞社都城支社長)

コロナ禍の経済・財政への影響などを解説する小黒一正さん=19日午後、都城城市・ホテル中山荘